



コンピューターモニターが所せましと並ぶ研究室。「遊びも研究もイベントも一番を目指す」というゼミに自身の研究活動、学長補佐の仕事と、毎日が超多忙。4つの大学で教壇に立った経験から「龍谷大は、学生のやる気と充実した環境で群を抜いている。断言できますよ」。

龍谷大学は 進化する。

大学とは、それ自体が膨大な知のデータベースに他ならない。

専門のユーザー・インターフェースの視点から、新たな大学を提唱する。

マクロ経済学の分野では毎年、膨大な経済データが収集・発表されます。

しかし、そのデータはバラバラで、

相互の関連も明らかでないため、結局難解なものになっています。

つまり、データは十分でも、そこから必要な情報を選択・加工し、

取り出すアプローチ・システムが不十分なわけです。

こうした問題の解決を目指し、ユーザー・インターフェース開発に取り組んでいます。

研究室では経済データだけでなく、

コンピューターシステムの評価や文芸作品の完成度までも対象としながら、

学生・院生が一緒になって、誰にもやさしく、使いやすい情報システムの構築をねらっています。

ところで、データベースというのは、何も図書館やコンピュータに限りません。

膨大な知の蓄積と人員を持つ大学自体もその一種と言えるでしょう。

ただ、日本の大学は伝統的に研究機関の色彩が強く、

学生・卒業生に対するユーザー・インターフェースは総じて弱い傾向があります。

逆にいえば、このインターフェースを改善すれば、

学生も大学もさらに発展できるのではないか。

学長補佐となった今年、そんな観点から、龍谷大学発展のための戦略的アプローチを

五つの目標、九つのプロジェクトにまとめ、提案しました。

詳細はまだ審議中ですが、動き出した専門職大学院構想も睨みつつ、学生から卒業生まで、

一人ひとりの知的満足度を最大限に高める大学づくりを目指すつもりです。

進化する龍谷大学の明日に、ぜひ期待してください。

西本 秀樹 (にしもと・ひでき)

【略歴】1958年1月兵庫県生まれ。慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程単位取得。工学博士(慶應義塾大学)。2002年より龍谷大学経済学部教授。専攻は情報システム学、知能情報学、システム工学。2004年から学長補佐を兼務。【主な著書】「Complex View Support for a Library Database System」【人文科学研究のための情報処理 第2巻(情報処理)】他【趣味】飼い猫との昼寝、自宅周辺の散歩(なぜか問題解決の妙案が生まれる)【座右の銘】君の生涯の最も輝かしい日はいわゆる成功の日ではなく、悲嘆と絶望の中から、生への挑戦の気持ちと、今に見るやってみせるぞ、という気持ちとが湧き上がるのを感じる日である(フローベール)



龍谷大学

文学部・経済学部・経営学部・法学部・理工学部・社会学部・国際文化学部・短期大学部
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
学長室広報 TEL.(075)645-7882 FAX.(075)645-8692 <http://www.ryukoku.ac.jp/>